

CISJ懇親会

熱気に包まれた楽しい宴！

日時：平成26年9月12日（金）

場所：東京田町「牡丹」



芦澤 仁（東京都）

去る平成26年9月12、13、14日の3日間、東京国際フォーラムにおいて「第44回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会」が開催されました。

初日の12日は午後3時30分～6時30分まで専門医教育講座が行われ会場が満員となる程の会員の皆様を受講されておりました。

そして夜は毎年恒例の当会会員による懇親会が東京、田町にある「牡丹」で行われました。

学会会場の有楽町からは若干距離もあったが平日の夜にも関わらず60名近い参加者が集まりました。

今回から10年間、会長職を務められました井汲憲治会長の後任の田中譲治新会長のご挨拶に始まり、幹部の浅賀先生、中野先生、井上先生のスピーチそして乾杯のご挨拶は小嶋 榮一先生により行われ楽しい宴は開会いたしました。

全国大会は年一度ということもあり北は北海道、西は鹿児島からと遠方からも多数の先生方に集まって頂き、いつも通り熱気に包まれながら楽しい宴は

続いていきました。

私も平成21年より毎回懇親会には参加しており、この会の素晴らしい所は、勉強するときはする、飲むときは飲むとメリハリが素晴らしく、僕の理想としているところに深く感銘も受けますし、私もこの様な素晴らしい考えをもった先生方と同じ空間にいることが非常に誇らしい限りです！

様々な著名な先生方も私のような若輩者にも気さくに話しかけて頂き老若男女関係なく仲が良いという雰囲気、いつもこの会を楽しみにしているのは私だけではないと思います！

二次会ではイタリアンBARで飲ませて頂きこの会のタフさにもやっと慣れ始めてきました！

今年度は創立40周年を迎えて、歴史だけではなく、全てにおいてのクオリティを改めて感じた会でありました。これからも当会会員の名に恥じぬよう日々の勉強、臨床に励み少しでも貢献出来るような歯科医師になると決意した一日でした。





The new Straumann® Short Implant is Straumann's shortest implant. This implant has 5 years of proven clinical data in the posterior regions, where limited vertical bone is available. The implant features:

- Standard Plus design for easy oral hygiene in the posterior region
- synOuter® internal connection ensuring compatibility with the synLower (prosthetic platform)
- Bone Level Thread to increase the implant to bone contact surface
- SLActive® surface on Rough® and the new Logan™ Translucite most advanced Straumann® technology combined with ease of use

The implant is available as Ø 4.1mm SN, Ø 4.2mm RN and WN

The Straumann® PURE Ceramic implant has a monotype design based on features of the Straumann® Full Arch Lower Standard Plus and Straumann® Bone Level Implants.

- Adjustment design for conventional restorations
- 3.8mm machined neck
- SLActive® surface topography comparable to Straumann® SLAP
- Agri of tip between Bone Level / Covered Effect Implants
- White color for natural aesthetics
- 1.5mm thread in cervical region (break Point Bone Level Implants)
- Thread pitch 0.8mm (from Straumann® Bone Level)



